

インフルエンザ(2026年第17週)疫学情報

《コメント》

2026年第17週の定点当たり報告数は0.61(患者報告数2,295)となり、前週の定点当たり報告数0.92よりも減少した。都道府県別では山形県(3.95)、沖縄県(3.91)、北海道(2.00)、長野県(1.32)、島根県(1.10)、富山県(1.08)、新潟県(1.07)、福井県(1.05)、青森県(1.02)、愛媛県(0.95)の順となった。全国47都道府県中、1都道府県では前週の報告数よりも増加し、46都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は41例であり、前週(47例)から減少した。23都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(3例)、1～4歳(8例)、5～9歳(4例)、10代(7例)、40代(2例)、50代(2例)、70代(8例)、80歳以上(7例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2026年第13週～2026年第17週)では、B型が133件(96%)、AH1pdm09が3件(2%)、AH3亜型が3件(2%)であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。